

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TMC 元町工場 食堂棟	階数	地上2階
建設地	豊田市元町1番 他94筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域 / 第一種住居地域	平均居住人員	600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年12月18日
敷地面積	1,118,398 m ²	作成者	久納 治
建築面積	1,907 m ²	確認日	2025年12月18日
延床面積	3,488 m ²	確認者	久納 治



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ★

標準計算

①参照値	138 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%
②建築物の取組み	46	84%
③上記+②以外の	46	84%
④上記+	46	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q3 室外環境 (敷地内): 3
LR3 敷地外環境: 2.9
LR2 資源・マテリアル: 3.0
LR1 エネルギー: 3.6
Q1 室内環境: 3.1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
TMC 元町工場 食堂棟

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	重み係数		
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		3.0	3.0	0.15						3.0
1.2 遮音		3.0	3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音		3.0	3.0	0.20						
2 温熱環境										
2.1 室温制御		3.0	3.0	0.35						3.0
1 室温		3.0	3.0	0.50						
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38						
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.25						
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.38						
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30						
3 光・視環境										
3.1 昼光利用		3.0	3.0	0.25						3.0
1 昼光率		3.0	3.0	0.30						
2 方位別開口		3.0	3.0	0.60						
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	3.0	1.00						
3.3 照度		3.0	3.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25						
4 空気質環境										
4.1 発生源対策		3.5	3.5	0.25						3.5
1 発生源対策		4.0	4.0	0.50						
1 化学汚染物質		4.0	4.0	1.00	内装仕上材は全てF☆☆☆☆とした					
4.2 換気		3.0	3.0	0.30						
1 換気量		3.0	3.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.33						
4.3 運用管理		3.0	3.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	3.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	3.0	0.50						
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	2.6	0.40						2.6
1 広さ・収納性		2.3	2.3	0.40						
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	0.33						
3 バリアフリー計画	独自	1.0	3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		3.3	3.3	0.30						
1 広さ感・景観 (天井高)		4.0	4.0	0.33	事務室部分の天井高2.7m以上					
2 リフレッシュスペース		5.0	5.0	0.33	建物内の売場で購入したものを持ち込む					
3 内装計画		1.0	3.0	0.33						
1.3 維持管理		2.5	2.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		2.0	2.0	0.50						
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.9	2.9	0.31						2.9
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.48						
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	3.0	0.20						
1 躯体材料の耐用年数		3.2	3.2	0.33						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	3.0	3.0	0.23						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	3.0	0.23						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	3.0	0.09						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	4.0	0.08	ステンレス製ダクトの採用					
6 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	4.0	0.15	給水管にHVP、給湯管にSUS、排水管にVPを使用					
2.4 信頼性		3.0	3.0	0.23						
1 空調・換気設備		2.6	2.6	0.19						
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20						
3 電気設備	②	2.0	2.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20						
		2.0	2.0	0.20						

重点項目スコアシート
TMG 元町工場 食堂棟

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 TMC 元町工場 食堂棟

計画上の配慮事項	
総合	多目的な利用に追従できる計画としている。
Q1 室内環境	室内仕上げ材は全てF☆☆☆☆としている。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管材や内装材を利用して、長寿命化に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	室外機等機械設備の全てを屋上に(約地上10m)設置することで、歩行空間の暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明により、設備システムの高効率化に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や節水コマなどにより、節水に配慮している。
LR3 敷地外環境	燃焼機器(厨房機器)はクリーンエネルギーといわれている水素ガスのみ使用。 それ以外の燃焼機器はなく、すべて電気に対応するため、大気汚染物質の発生を抑制できている。
その他	